

サステナビリティマネジメント



サステナビリティ推進担当役員
取締役常務執行役員
管理統括本部長
廣井 政幸

ミウラグループは、「企業理念」と「モットー」に代表される理念をグループ全員が共有し、従業員一人ひとりが生き生きと働き、お客様のお役に立ち、それが地球環境保全や社会貢献につながり、企業としても成長していくことを目指しています。その実現に向けて、長期的な視点でマテリアリティの取り組み強化を進め、ミウラグループとして社会の持続可能性を追求していきます。2021年2月に経営会議の審議、取締役会の承認を経て、サステナビリティ基本方針を策定するとともに、具体的な活動を推進していく経営の仕組みとして「サステナビリティ推進会議」を設置しました。この枠組みをしっかりと根づかせ、100年企業に向けた新たなチャレンジを進めていきます。

企業理念は、まさにミウラグループの存在意義（パーパス）であり、その担い手である“人財”が目指すモットーの実現とともに、持続可能な社会実現の貢献に通じるマテリアリティの取り組み強化を推進していきます。

企業理念

熱・水・環境の分野で、環境に優しい社会、
きれいで快適な生活の創造に貢献します

モットー

『我々はわが社を最も働きがいのある、
最も働きやすい職場にしよう』

サステナビリティ基本方針

ミウラグループは、熱・水・環境のベストパートナーとして、
企業活動を通じ、サステナブルな社会の実現に貢献します

サステナビリティ推進体制

サステナビリティ推進会議は、社長執行役員が指名するサステナビリティ推進担当役員を議長とし、関連17部門の執行役員など13名で構成（2021年5月現在）。推進会議（事務局：経営企画室・ブランド企画室）は年4回開催し、方針・計画・施策の審議決定、進捗管理を行い、取締役会などに報告・提案を行います。推進会議は、取締役会の監督を受け、関連部署による施策の立案・実行の促進を図ります。

2021年2月は、サステナビリティ基本方針および関連部門ごとの活動計画とKPI（中期と短期）の承認、環境長期ビジョンの審議を行いました。

2021年4月には、民間企業CSR部門責任者の経験を有する社外有識者をアドバイザーに加え、5月開催の推進会議にてコーポレートガバナンス・コード改訂動向の共有、国連グローバル・コンパクト署名、内部通報制度の実効性向上などを審議しました。

● サステナビリティマネジメント体制図



サステナビリティ推進活動

マテリアリティに対する具体的な取り組みを推進するため、関連部門ごとにステークホルダーに向けた方針の策定、3年中期計画とKPI、2021年度活動計画とKPIを設定しました。各部門の執行役員などがサステナビリティ推進責任者として部門の活動を推進していきます。また、他部門にまたがる課題などについては推進会議にて全体の方向づけを行い、マテリアリティの取り組みの円滑化を図ります。推進会議は、今後6ヵ月ごとに各部門の取り組み状況をモニタリングしていきます。

「MyGsプロジェクト」についてはウェブサイトをご覧ください。
<https://www.miuraz.co.jp/mygs/>

地域社会との連携

当社は、ゼロカーボンシティの宣言都市である愛媛県松山市の「松山市SDGs推進協議会」に加盟しており、水素関連機器のイベントPRなど水素社会実現を目指して、地域のSDGs活動にも積極的に参加していきます。

SDGs浸透施策

グループ従業員一人ひとりにSDGsへの意識向上と浸透を図るため、社内活動「MyGsプロジェクト」を展開しています。ウェブサイトにも4か国語に翻訳して世界中の従業員に発信しています。

国連グローバル・コンパクト

当社は、国連グローバル・コンパクトの取り組みに賛同し、2021年6月に署名を行いました。

